臺灣日日新報（土曜日）第一万二千六百十一號　昭和十年五月十一日　A（一）

（第二版）（原譜配畫）　明治卅一年五月九日第三種郵便物認可　昭和十年五月十一日

臺灣昌新報夕刊
五月十日
夕刊一部一個定刊
若槻野間 両 編輯兼発行人
臺北市北門町 臺灣日日新報社 印刷所
銘酒 楓皇鹿

十五名の委員決定
あす御裁可を仰ぐ
十七日には委員の初顔合せ

【東京十日發】政府は九日内閣參議官會議の席上に諮り、左の如く決定した。

一、帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（一）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（三）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（四）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（五）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（六）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（七）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（八）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（九）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（十）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（十一）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（十二）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（十三）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（十四）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（十五）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（十六）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（十七）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（十八）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（十九）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二十）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二十一）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二十二）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二十三）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二十四）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二十五）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二十六）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二十七）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二十八）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二十九）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（三十）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（三十一）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（三十二）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（三十三）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（三十四）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（三十五）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（三十六）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（三十七）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（三十八）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（三十九）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（四十）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（四十一）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（四十二）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（四十三）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（四十四）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（四十五）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（四十六）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（四十七）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（四十八）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（四十九）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（五十）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（五十一）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（五十二）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（五十三）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（五十四）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（五十五）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（五十六）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（五十七）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（五十八）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（五十九）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（六十）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（六十一）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（六十二）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（六十三）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（六十四）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（六十五）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（六十六）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（六十七）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（六十八）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（六十九）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（七十）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（七十一）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（七十二）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（七十三）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（七十四）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（七十五）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（七十六）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（七十七）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（七十八）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（七十九）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（八十）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（八十一）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（八十二）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（八十三）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（八十四）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（八十五）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（八十六）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（八十七）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（八十八）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（八十九）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（九十）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（九十一）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（九十二）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（九十三）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（九十四）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（九十五）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（九十六）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（九十七）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（九十八）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（九十九）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百一）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百二）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百三）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百四）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百五）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百六）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百七）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百八）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百九）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百十）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百十一）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百十二）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百十三）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百十四）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百十五）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百十六）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百十七）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百十八）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百十九）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百二十）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百二十一）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百二十二）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百二十三）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百二十四）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百二十五）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百二十六）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百二十七）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百二十八）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百二十九）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百三十）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百三十一）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百三十二）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百三十三）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百三十四）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百三十五）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百三十六）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百三十七）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百三十八）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百三十九）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百四十）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百四十一）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百四十二）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百四十三）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百四十四）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百四十五）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百四十六）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百四十七）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百四十八）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百四十九）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百五十）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百五十一）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百五十二）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百五十三）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百五十四）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百五十五）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百五十六）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百五十七）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百五十八）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百五十九）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百六十）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百六十一）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百六十二）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百六十三）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百六十四）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百六十五）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百六十六）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百六十七）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百六十八）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百六十九）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百七十）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百七十一）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百七十二）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百七十三）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百七十四）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百七十五）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百七十六）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百七十七）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百七十八）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百七十九）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百八十）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百八十一）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百八十二）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百八十三）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百八十四）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百八十五）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百八十六）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百八十七）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百八十八）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百八十九）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百九十）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百九十一）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百九十二）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百九十三）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百九十四）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百九十五）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百九十六）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百九十七）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百九十八）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（百九十九）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二百）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二百一）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二百二）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二百三）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二百四）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二百五）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二百六）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二百七）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二百八）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二百九）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二百十）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二百十一）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二百十二）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二百十三）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二百十四）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二百十五）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二百十六）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二百十七）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二百十八）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二百十九）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二百二十）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二百二十一）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二百二十二）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二百二十三）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二百二十四）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二百二十五）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二百二十六）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二百二十七）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二百二十八）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

（二百二十九）帝都復興院評議員會は十日朝町田議長に左の諮詢を發し、同會は即日之に應じ、同日午後一時より會議を開き、左の如く答申した。

米國の空の艦隊
太平洋上へ更に前進
出發地眞珠灣は宛然戰時狀態
ミツドウエー島附近は惡天候

【ホノルル九日發聯合】アメリカ政府が全世界に誇る空の艦隊—海軍飛行隊十八機は九日拂曉眞珠灣を出發し、今新鋭の戰艦で一大編隊を組織し意氣揚々と太平洋上の前進基地ミツドウエー島へ向け一千三百哩餘の距離に向つた、先頭機の出發時間は午前七時十七分にして、この日眞珠灣は朝來戰時狀態を現出し、記者團も一切機密地附近に近づく事を許されず、僅かに附近の岸から壯擧を遠見する程であつた、飛行艦の續航的性能を確實ならしめる爲飛行機は機體を極力輕くする爲め機關銃や彈藥は積まず、又ガソリンも滿載せず、從つて戰鬪力は殆んどないといふ、ミツドウエー島までは二千三百哩を無着陸で飛ぶ事になつてゐるが、九日夕刻迄には全艦隊の行動に關する無線電報は入つてゐない、但しミツドウエー島一帶は天候惡化なので或は豫定を變更し九日夜フレンチ・フリゲート島に一時寄港するかも知れない

三機は故障で歸還

【ホノルル九日發電通】アメリカ海軍機のハワイ、ミツドウエイ間大編隊飛行の決行された九日朝出發點たる眞珠灣飛行場は、早くも戰時の如き緊張裡に包まれ、一時は全く戰場の日面を呈するに至つたが、その中から朝八時十五分（眞珠灣時刻午前二時四十五分）嚴々たる爆音と共に四十八機の艦上爆撃機が整然たる編隊を組んで西に向つて一路ミツドウエイに向け太平洋上を飛び去つた、右の内三機は機體に故障を生じ間もなく歸還し殘餘の四十五機が大飛行を續行中である

總督府の主催で
一大慰靈祭か
中川總督の上京迄に

【新竹電話】新竹州では十月末後援會長會議の際各支廳長の總括者三千名の出席に對して一大慰靈祭を行ふ筈は既報の通りであるが、その方法としては

一、總督府主催にて臺北に於て行ふこと

二、總督府主催にて臺北に於て行ふことの二案について協議されてゐるが、一案は地元である關係上臺北に於て行ふことが第一案なのである、即ち十八日午後より臺北公會堂に於て一大法要を行ふのが當である、即ち十八日午後より臺北公會堂に於て一大法要を行ふのが當であるといふのが第二案なのである、即ち十八日午後より臺北公會堂に於て一大法要を行ふのが當である、即ち十八日午後より臺北公會堂に於て一大法要を行ふのが當である、即ち十八日午後より臺北公會堂に於て一大法要を行ふのが當

【新竹電話】新竹州では十月末後援會長會議の際各支廳長の總括者三千名の出席に對して一大慰靈祭を行ふ筈は既報の通りであるが、その方法としては

一、總督府主催にて臺北に於て行ふこと

二、現地即ち新竹州に於て個々に行ふこと

この二案について協議されてゐるが、一案は地元である關係上臺北に於て行ふことが當である、即ち十八日午後より臺北公會堂に於て一大法要を行ふのが當

羅災地郡市の
庶務課長召集

夏場所新番附を發表

十日初日の幕をあける夏場所大相撲は吉例に依り五日に新番附發表が行はれた寫眞は出羽の湊部屋にて

石頭河子で
汽車衝突
死傷二十三名

【ハルピン九日發】九日午後三時北滿東部線石頭河子驛構內にハルピン發第六客國際列車と貨物列車と側面衝突し、機關車及列車數輛は全壞するとともに顚覆し、これがため死者四內日本人二名重傷三名輕傷十六名を出した

エチオピア國王
決意の程を御披瀝
英國記者を引見せられて

【アチスアベバ九日發電通】エチオピア國王ハイル・セラシー一世陛下は九日英國記者引見せられイタリーに對し武力をもつて對抗せんとするエチオピア政府の決意の程を左の如く披瀝された

エチオピアはイタリーが侵略として戰備を整へるにおいては全國民に總動員令を發して防衛の方針である、余は五月二十日に開かれる聯盟理事會の平和努力を强化する樣な方向に向つて開催を熱望してゐるが、若し理事會が斯る擧に出ず、又イタリーが遂に戰備を進めるのなら余は敢て聯盟を脫退してイタリーに力をもつて對抗せねばならない、斯る時は

滿洲國と蘭領印
と郵便爲替交換

【新京十日發】滿洲國政府は蘭領印度政府との間に郵便爲替交換に關する協定を締結することに決し、これが實施に關する細目取極めのため、滿洲國側代表として滿洲國駐箚蘭領印度總領事ヘンドリック氏は十一日新京に來る十九日午前十時より會議を開催することとなつた、先づ滿洲國側代表者は蘭領印度側代表者を訪問し、兩國間の郵便爲替交換に關する協定案を提出し、日本に於て發行の上夫々滿洲國の下に於ても發行せらるる樣交渉する筈である

山砲大隊の一
創立記念祭
十九日擧行

【臺南電話】臺南第二師團第十二聯隊創立記念祭に來る十九日午前十時より營內に於て擧行するが、當日は午前八時より營內に於て擧行するが、當日は午前八時より營內に於て擧行するが、當日は午前八

親鸞聖人

（204）

吉川英治 作

山村耕花 畫

女人篇

白磁を哭く（三）

「……」

美術消息

▲別府真一郎氏渡歐　先頃臺展へも来た別府貞信氏は五月十日門司發欧洲丸で長崎發の途についた

演劇時評

『劇團臺北』の公演を觀る

中山侑

◆最近の臺北に文藝、美術、音樂團體、藝術の方面に色々のグループの結成とその仕事の發表を見ることは誠に喜ぶべきことである。殊に臺北のところに藝術家の若々しい情熱が燃えつゝあることは、モダン都會の文化的價値を示すものとして頼もしい。

◆八日夜は、劇團臺北がその第一回公演を、ロココ無線放送所の作品發表と共同して、鐵道ホテルの演藝場で開いた。出し物は、クルトリヤヌの戯曲よりは『飛び出した一線』である。以下順次にその感想を述べると……

◆先ず驚かされて、その演出な舞臺裝置に驚かされたバック の色彩はくしたは裏技と月の背景の割合から、觀衆の注意を完全に集つてしまつた。開演を遅くまでも待つ觀衆の頭の中に、既に一種の期待が出來上つてゐるからである。特にバックの壁に使つた黄色は、觀衆技術と言ふ一種異な、それでゐて何處かのつかない落ち着きを與へる舞臺の效果を充分に發揮してゐるも少し暗い色を使ふべきである。

◆演技としては役者をやる志村春雄、井上フローシェ夫人をやる神田君がなかなか無難な方で、むしろ若く演つたと言ふべきだが、お君さんは役柄の持つ言ふべき點だが、動のバス、小安君は船尾の明暗をも描をしてゐる（勿論、舞臺の隊をしさは實感だが）

◆それから、油田君、赤坂君は、それぞれハンドバク帽子と言ふ武い武器を持ちながら、これを充分に使つてゐなかつたのは勿體ない限りで演出家の罪だが、之なども大きな演技上の失策である

◆その他の諸君は間に合せものと言ふ感じで少し氣の毒だが、最初のうちは仕方がない

◆で、演出の問題だが、一番まづいのはフローシェ夫人の登場と退場であるまづフローシェ夫人はニコニコと嬉しくて入つて來るが、やがて結婚してニコニコと退場する。之から話にならない。何しろフローシェ夫人は夫が氣が氣だと言ふので、保護を願ひに入つて來るのだ。そしてその願を受取に断られて不滿一杯で歸るのだ。それも無理やりに押し出されるのだ氣持くの山の登り方にも色々不滿はあるが、特に失敗は出發にある

◆色々とあらばかり探り出して濟まない點だが、男長とフロオシ

名家敗退將棋

（齋藤氏二回勝三人目）

香落　七段　齋藤銀次郎
平手番　六段　飯塚勘一郎

△飯塚勘一郎（駒落）氏指手
▲齋藤銀次郎（駒落）氏指手
（両氏の指了指局時刻は次回）

▲九六歩△八四歩▲三七桂△六二銀▲二六角△四三金右▲四五歩△四四歩▲四六銀▲四六歩△四二飛▲四七金右△三二銀▲五六歩△五二金左▲五七銀△三一玉▲六八玉△七二玉▲七八玉△八二飛▲九六歩△九四歩▲三七桂△六二銀▲二六角△四三金右▲四五歩△四四歩▲四六銀▲四六歩△四二飛▲四七金右△三二銀▲五六歩△五二金左▲五七銀△三一玉▲六八玉△七二玉▲七八玉△八二飛

▲飯塚六段言ふ　九六歩は早やかたかも知れないが七八玉の形だけに九四の突合ひは不利ではないと思つてゐる

△齋藤七段言ふ　九四歩で角の立互筋をたつぶりましたから三五歩と攻められる憤れがある局面に來るが三五歩の攻めは出來ようと思つてゐる

▲飯塚六段言ふ　二六角は二三銀右と上られいたいと思つたが二四歩では二四三歩で矢張り指すことになる

△齋藤七段言ふ　二四歩は強手で飯塚さんの如く攻めつけられてきやです

◇大崎八段評　齋藤君の六二銀引きは後に攻める含みで齋藤を攻めようとする含みで齋藤さんの飛車筋の二六角と打つて四歩から明かれたのは大事を取るやうで手ぬるい指し方であつた。つまり二六角は二三銀右と上られるので四三歩で攻めつけられて來るが、二四歩は後に二三歩と打つて來られるので二四歩は強手で飯塚さんの如く攻めつけられてきやです

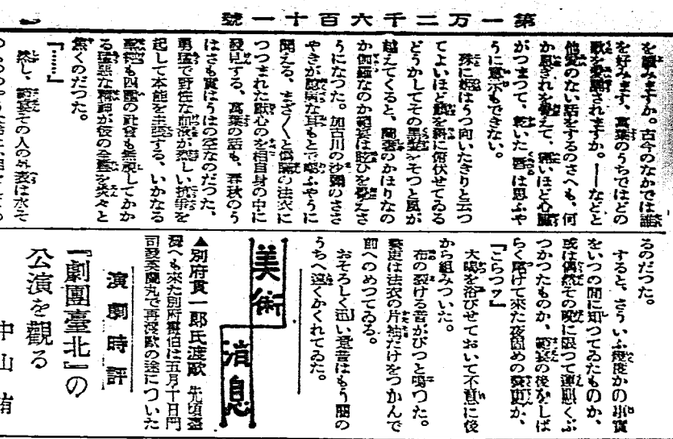
◇大崎八段評　齋藤君の六二銀引きは後に攻める含みで齋藤を攻めようとする含みで齋藤さんの飛車筋の二六角と打つて四歩から明かれたのは大事を取るやうで手ぬるい指し方であつた。つまり二六角は二三銀右と上られるので四三歩で攻めつけられて來るが、二四歩は後に二三歩と打つて來られるので二四歩は強手で飯塚さんの如く攻めつけられてきやです

女人篇

白磁を哭く（三）

吉川英治

知らずに廣間角なのである。そして彼は彼にその廣間を作れながらに生みつけられてゐる人間であつたといふ事實はひつかない數派にさんくと魂を搖らして、そこに戀人のあることを忘れ果てるとかうする間に獨の聲が聞えてくる。高野は自分の寢室の戸をそつと押して、外に出てくるのであつたが、そこへ來てみると初めのまゝの位置に初めのまゝの姿勢で駒り込んでゐる二人なので、自分があた苦心をして一方を誘つて來たのは一體何の爲かと思がゆくもなり無々と思ふのでもあつたが、夜が白みかけては一大事を醸す恐れがあると、姫にかはつて次に來る夜の算段をとつて、そつと廊のうちへ抜けて廣門の戸を押げ



を聞きますか。古今のなかでは誰を好きますか。高野のうちではどの數を數解されますか。――などと他愛のない話をするさへも、何か胸がおどるやうで、嬉しいほど心臓がつまつて、紅くした顔は思ふやうに笑ひもできない。

殊に姫はうつ向いたきりと云つてよいほど顔を耐に俯伏せてゐるどうかしてその顔を見ようそつと風が越してくると、髪の香かほりなのか何處なのか知れぬ花びらを散らさやうに加川の沙彌のささやきが聞えた耳もとでふやうに聞える、まさくと高野の法衣につつまれた數々の想ひ出の中に投じてゐる。高野の胸も、昇秋のうはさも實はうらの空なのだつた。勇猛で野性な鄙派が起して本能を主張する、いかなる教訓も四囲の雰囲気も無視してかかる獣性な獣的が彼の全體を支へと無くのだつた。

殺し、野獣との人の外表はホそのものゝやうな姿に相をしてゐた。刹那してゐる愛人の知かた鉢巻をも見出してゐる愛の目ほどものそくには出來ない。又決して許さうともしない野獣とのである。事件られた建築の愛のやうに數派の關にいつまで續れるのだつた。

するとさういふ感覚かの期待をいつの間に期つてゐたものか、或は偶然その數に誤つて運動くぶつかつたものか、數派の後もしばらく居けて來た夜間めの數聞が、「こらつア」

大聲を浴びせておいて不意に後から組みついた。

布の裂ける音がびつと鳴つた。

姫は法衣の片袖だけをもつかんで即へくめつてゐる。

おそろしく思い姫音はもう闇のうちへ遠くかくれてゐた。

名家敗退將棋

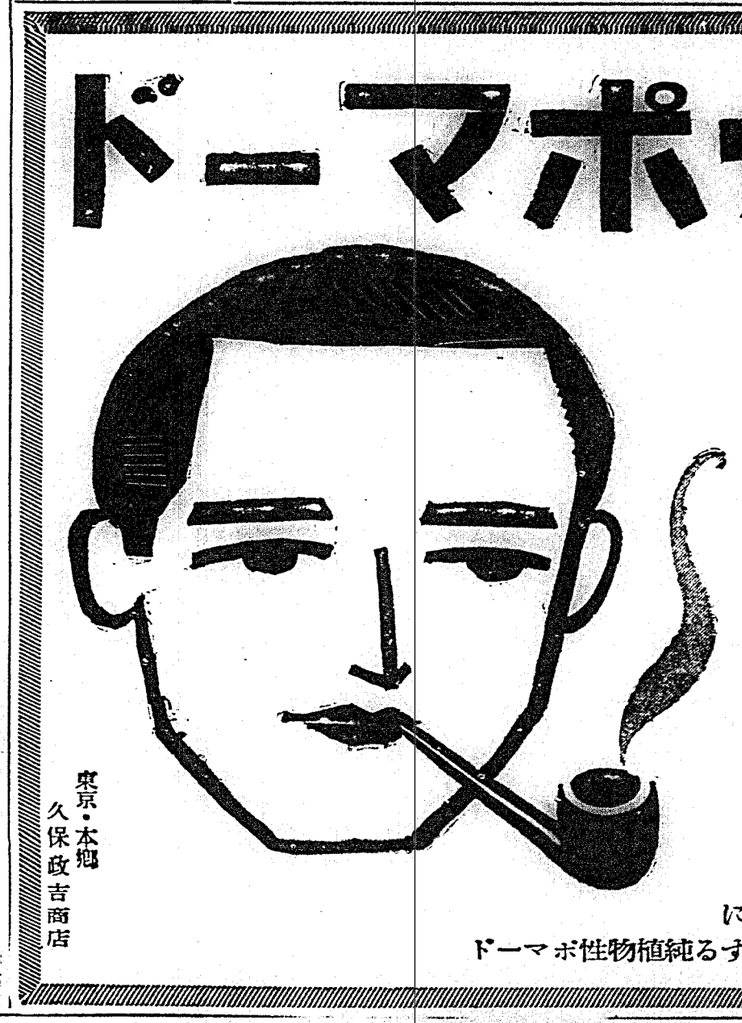
（齋藤氏二回勝三人目）

香落　七段　齋藤銀次郎
平手番　六段　飯塚勘一郎

△飯塚勘一郎（駒落）氏指手
▲齋藤銀次郎（駒落）氏指手
（両氏の指了指局時刻は次回）

臺日案内

書籍
新刊 常用語辭典 臺北市榮町一丁目 新高堂書店
特價 日本地理大系 臺北市本町 古今書院
醫院
文化眼科 臺北大和町 小林醫院
料理屋
生そば 辨金 京町 寫眞
フヰルム 臺北榮町 西尾商會
新カメラ 鏡 特賣 臺北市榮町 入江商會
蓄音器月賦販賣 臺北本町 大谷蓄音器店
テイチクレコード 太平町二丁目 泰芳洋行
貴金屬
ダイヤモンド 臺北榮町 丸山
世帶道具
無煙風呂金 臺北本町 一ノ十 瓶商會
藥種商
月やく 臺北榮町 大正町一 鎌田商店
雜件
特許 岸喜鑑 商標 臺北榮町 家財道具 臺北榮町 電話 商品券 臺北榮町 大金玉蚊針 臺北榮町 子供服 臺北榮町



怒り虫よ！湯に入れ!!

松竹少女歌劇 市村菊子嬢

好きなは娘役

歌舞伎の若女形 片岡燕丈

サーワ白粉と化粧品
◇優秀と定評◇
固煉白粉（白・肌色）各35 60
固煉白粉（白・肌色）各35 60
水白粉（白・肌色・薄黄・赤肌色）各30 50
粉白粉（白・肌色・薄黄・赤肌色）各30 50
コンパクト（白・薄黄）各60 80
白粉下 30 50 120
ヴァニシング・クリーム 35 70 150
コールド・クリーム 35 70 150
化粧水 40
紅（練入と液含）各35
口紅（練入と液含）各35
眉墨 30
打粉（白・肌色・薄黄）30

低金利趨勢或繼續
災害復興將善處
保田新臺銀頭取談

郵船大和丸。九日午後一時。抵基隆岸壁。繫客五百二名。貨千八百四十七噸。而要繫客。保田臺銀頭取。坂本素魯哉。郵村一造諸氏。茲搭保田頭取所談如左。

低金利基調無變。暫時或持續此情勢。又中歐貿易雖有海外種種障碍。仍見持續好調。殊爲快意。入本年以來。因日華親善大促進。因而對華貿易進展殊如臺灣砂糖輸出增進。豫想產額增加如今日。實堪喜慰。欲臺灣多受天惠特殊產物。舉當之樂土。此次再來當地。益深此感。博覽今將見開會。以後之臺灣。精內外之勢。當更見發盛也云云。

歷訪總督其他
履新敘禮

九日晨。新之保田臺銀頭取由吉田副頭取。寺山秘書課次長隨導。即日于臺灣神社。正式參拜。次訪問中川總督。本塚總務長官寺內軍司令官。並臺銀監理官岡田財務局長。爲抵任敘禮。十日敘對關係官民敘禮。十一日午後六時半。于鐵道旅館。開披露宴。

厦門銀塊流出甚多
今後財界可慮

厦門現。白銀輸出。因出口稅。平衡稅實施。一時中止。迨至三三週前。現銀正式通關輸出。益。最近二週間。正式通關輸出多至百二十八萬圓。然少量密輸出。因數甚多。想必達相當數量。聞正式通關輸出。若配出香港。則一千萬之巨。以此事故友拿

頭分。南庄。大南埔。其他零處。庄民神經過敏。夜間皆野宿。唯此數日來餘震漸減。始漸歸自宅就寢。不過五日早晨。又起慘。一般庄民恐懼跳出戶外。是故仍多野宿云。

新營街民救恤災黎

新營郡新營街民。對此次中部大震災。同情義捐者。當共非淺。街役場職員及隣委員。方面委員。均四百餘施所開研究會。交換種種救恤術。至九時半。由大塚庄長。三瞳萬歲。散會。又是夜城內李慶氏。城東黃省三氏。萬華村井氏。稻江林水錦氏。城南中道氏列席。今後將由李友三氏。庚有商氏。組織一聯合會。現正起草會則云

總督訪軍部
會軍司令官
面謝救災

其"臺灣"各方面。最常運步。故此際余全然白紙。唯就本島事業。擬大發臺力。前月二十一日。中部地方震災。實堪同情。然總督府。整各方面。業有萬全方策。詳細聽取意見。余于大正八年日本銀行在職中。曾一次渡臺。于該地有知友。而就臺灣。覺有一種親情。然自是經過十五年。

臺灣日日新報
本日夕刊共十六頁
（原稿配達）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）
昭和十年五月十一日　土曜日　第一万二千六百十一號
臺灣日日新報社
臺北市北門町二丁目一番地
電話　本社　十一番
　　通信部　十二番
　　印刷工場　十五番
廣告料　特等　一行一回　八十錢
　　一等　一行一回　五十錢
　　一等　一行一回　三十錢

臺灣日日新報

本日夕刊共十六頁

臺灣日日新報社選 コロムビアレコード 新長曲唱

臺北四季

作詞　松永和十郎
作曲　鄉散人

臺灣日日新報社南事課

同　基隆支局　臺中支局
同　嘉義支局　臺南支局

臺灣コロムビア販賣會社
全島各地コロンビア特約店

粉白水堂生資

薫風爽かにわたる
晩春の粧ひに——

四二・四一　エクーオ・森・資・風・白

（ンセ〇八）

物讀ルネサンス

★！買れそ！た出らそ
★傑作揃ひの六月特輯号

文藝春秋

定價五十錢

本誌内容の一部
ターキー　騎太郎
古川緑波と飯田蝶子
その他各界の第一人者を集め
評判の人生相談
一問一答
氣形レントゲン大寫眞
母澤寛の義民の涙の訴
作家の人を圖る
岸田國士切抜帳
寺田寅彦の鳥の聲
小説　五郎氏始めの山
新進海音寺潮五郎氏の
講談　連載一新
講談　加賀山直三
隨筆　春日亭清吉
野村胡堂
落語　三遊亭小圓朝
漫談　大辻司郎
座談會　語る人
語の面白い話
永井荷風
清水崑
對談　小説に落
對談　山に
對談　海に
對談　他
對談　等
對談　その
對談　動や
對談　の面
對談　語の
對談　講の
對談　談等
對談　小説
對談　落語
對談　山に
對談　海に
對談　他
對談　

内閣審議會の成立と時局

政治の實行力强化は未知數

一

内閣審議會發會式は兎に角十五名全部顯揃ひで擧行されるが唯一の政治問題たる顧問を缺てゐた審議會も一先は無事に發會した譯の揭句、漸く發會した、今後如何なる國策が生み出され、實行されるか又從來たる今日の政情に於て、何の程度にまで政治的威力を發揮するかは甚だ注目に値する、而して審議會員顧問の人選に於て政府當初の希望は殆に遠成せられず、殊に政黨が顧問として勝ず審議會入りを拒否した事は強調迄りであつた、審議會の强力に拔大な影響を與へざる事は爲へない事である。

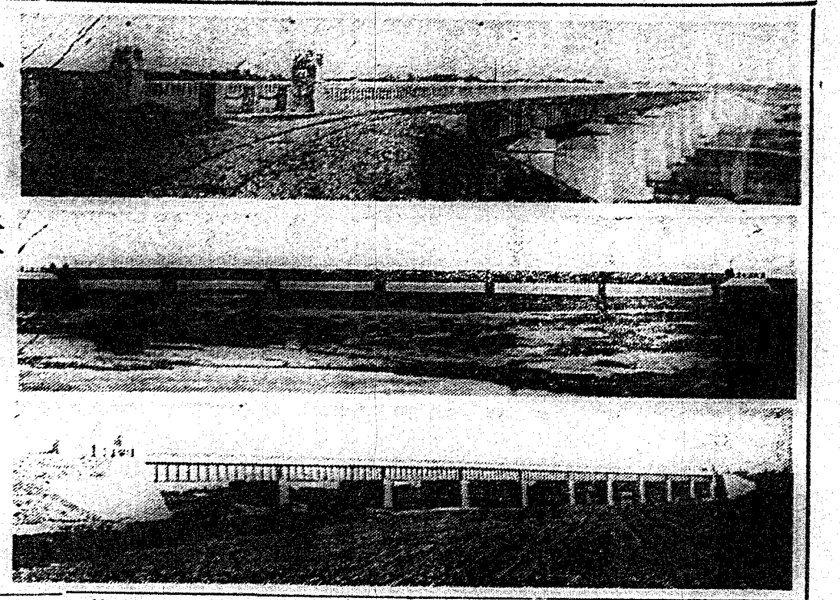
二

政府の審議會に對して期待する處は、あらゆる方面に於てその强力性にあつた、政府の施策を審議に經過すれば、擧國一致以て不動の國策を確立し實行力を强めしめんとするにある、現下の日本は財政問題、行政機構の改革、國防と、時局、外交との關係といふが如き重大問題山積しと雖も一內閣、一政策の力を以てしては至難の事に屬し國の擧國一致に依る强力な政治の實行力が切望に渴望されるのである、即ち政黨、軍閥、官僚を超越する超然內閣の確立と共に政黨の協力を得て强力な政治の實行力を發揮せしめんとするにある、現下の日本は財政問題、行政機構の改革、國防と、時局、外交との關係といふが如き重大問題山積しと雖も一內閣、一政策の力を以てしては至難の事に屬し國の擧國一致に依る强力な政治の實行力が切望に渴望されるのである、即ち政黨、軍閥、官僚を超越する超然內閣の確立と共に政黨の協力を得て强力な政治の實行力を發揮せしめんとするにある、現下の多端なる時局を解決し、國政を運營して行く事は一內閣、一政黨

（第三種郵便物認可）　昭和十年五月十一日　臺灣日日新報　第一万二千六百十一號　A　（三）

十日の佳き日に 四橋の渡り初式

今川知事らも参列 盛大に擧行さる



中學校設置を 街民一致猛運動

六千五百名の連署を以て

犯罪喚出しの 實地の訓練

刑事課で警察犬に

大地震來るとの 蕃語に部落民驚愕

流布者に十五日の拘留

今年の惣田鰹漁 二百萬尾を豫想

水揚高四十萬尾に達す

齋藤郡守の宴を張て 感謝の意を表す

ヒース・ブラウに因る收益の 増加に蕉農ら感激

府、州、市協議會員ら 額を蒐めて協議

飛行聯隊や鐵道問題等々 多事な臺中市の昨今

飛行聯隊問題で 嘉義で協議

合製樟腦の原木 海岸松を試植

けふ正午から 放送を開始

臺中放送局

料理店、宿屋の 調理場が不潔

嘉義署の調査

犯罪捜査の 選手權を獲得

臺南署の御手洗 陳の兩防犯係が

人生の三大幸福

福、祿、壽は 生殖器の强健より

陸海電信術員志願
日本製パン製菓學校
星と御指命 印刷所へ
廣告は宣傳の近道なり
ニコチン緩和劑
愛煙家必携 連用保健劑

天使

（禁上映）

横光利一 (71)

宮田重雄畫

六の十七

これは、いよ〳〵困ったことになったと、醫雄も良子も思ったら しく、同時に眼を見合せた。が、醫雄は、もう斷然したらしく、にわかに何とも云へぬ、爽やかな、聞のびのした表情になると、むしろ、ゆったり落ちつき拂って、煙草に火をつけるのであった。

そこへ、明石が現はれて、醫雄を見て、驚いて上って來た。

「君、丁度、今さき良子さんと二人で、行ったんだよ。氣がつかないから、驚って來たら、章子が來てるんのさ。だから、君、今夜はもう何もかひつこなしにしようよ。二日でも三日でも、もう無茶苦茶にたつちもち。」

醫雄のさう云ふのに、明石は聞かうともしなかった。

彼は、まだ興奮してゐるらしく眼が血走つて光つてゐた。

「さきほど、お伺ひしましたんですが、ごめんなさいましたから。」

と、そこまで良子が明石に云ひかけたとき、醫雄は、突然大きな聲で、

「もう、よしなさい。何も云つちやいけんぞ。」と云つた。

「何んですの。氣味わるいなと思つて。」

と良子は、のんきさうに、にこにこ醫雄の顏を眺めながら云つた。

「良子さんの書き手紙を見たよ。」

と、明石は云つた。すると、一寸顏つてゐてから、さもにたうよつて、

「どうも、すまなかつた。」

とお詫びをした。

「いや、それや、僕の云ひ方がまづいと。君から云はれることやないし。僕こそ、相すまぬ。しかもテ、今夜はこの通り、不意にたゞしもつたもんだから、歓迎してもらひたい。何を云つていいんか、さつぱり分らんのだよ。まテ、聞けよ。

かういふ場合しんとなるにはなるには醫雄から、一番と云ふお詫をして、醫雄が抜けて來るので、不思議三昧な氣力を集めて、一擧を斷行する場合であつた。こ

の時も、やはり醫雄は、眼にも出來ぬ、振舞の跡を自然に出し、悪魔教育者をして、驚かなかつた。

「おい良子、お前ちよツ〳〵せずに、お客さんを頼むのを、手傳へよ。」

「だつて、あたし、お客さんよ。あなたあたしに、お客さんを出してもいいね」

「そんな理屈はせよ。くだらん。」

「だつて、ねえ、明石さん。もうあたし、醫雄氏をもつたんぢやありませんから。」

章子にしては、この言葉には、たゞならぬ感情にまみなかつたが、良子には、これ程強く響を打つた彼女は、わくくしながら、どうなるものかと思つて、醫雄をほしたり、醫のかたりしるなだけであつた。

「だや、僕が主客を出してやらう」

醫雄は立ち上つた。すると、良子も一緒に立ち上つた。

「あの、あたくし、帰らせていただきますわ」

「いいんですの。そちらにお床とつてありますから、お泊いでせうもお眠たくなりません？」

と良子は云つた。しかし、彼女はさすがに、氣がさしたと見えてはツとなると、

「ほんとに、もう遅くなりますものあちらでおやすみなさいと一緒に、眠りませう。さうなさいよ。」

「良子さん、さうなさいよ。」

と醫雄も云つた。

ラヂオ

午前の部

臺中放送局開局記念放送番組第一日

（本社より放送番組一日前發表）

【六・〇〇】報の時報、ラヂオ體操（今日の氣象の報告なし）、體操（明石潮）

【七・〇〇】報の時報、ラヂオ體操（今日の氣象の報告なし）、體操（明石潮）

【八・〇〇】報の時報、ラヂオ體操（今日の氣象の報告なし）、體操（明石潮）

【九・〇〇】臺中放送局開局式（臺中市水道唄）

【九・二〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【九・四〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【十・〇〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【十・二〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【十・四〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【十一・〇〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【十一・二〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【十一・四〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【十二・〇〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

午後の部

【一・〇〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【一・二〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【一・四〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【二・〇〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【二・二〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【二・四〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【三・〇〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【三・二〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【三・四〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【四・〇〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【四・二〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【四・四〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【五・〇〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【五・二〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【五・四〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【六・〇〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【六・二〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【六・四〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【七・〇〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【七・二〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【七・四〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【八・〇〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【八・二〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【八・四〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【九・〇〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【九・二〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【九・四〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【十・〇〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【十・二〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【十・四〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【十一・〇〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【十一・二〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【十一・四〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

【十二・〇〇】臺中放送局開局記念講演（臺中市長）

夜間の部

【六・〇〇】子供の時間（臺北）童謡、唱歌、作曲、指揮、演奏（臺北）

【六・三〇】子供の時間（臺北）童謡、唱歌、作曲、指揮、演奏（臺北）

【七・〇〇】子供の時間（臺北）童謡、唱歌、作曲、指揮、演奏（臺北）

【七・三〇】子供の時間（臺北）童謡、唱歌、作曲、指揮、演奏（臺北）

【八・〇〇】子供の時間（臺北）童謡、唱歌、作曲、指揮、演奏（臺北）

【八・三〇】子供の時間（臺北）童謡、唱歌、作曲、指揮、演奏（臺北）

【九・〇〇】子供の時間（臺北）童謡、唱歌、作曲、指揮、演奏（臺北）

【九・三〇】子供の時間（臺北）童謡、唱歌、作曲、指揮、演奏（臺北）

【十・〇〇】子供の時間（臺北）童謡、唱歌、作曲、指揮、演奏（臺北）

【十・三〇】子供の時間（臺北）童謡、唱歌、作曲、指揮、演奏（臺北）

【十一・〇〇】子供の時間（臺北）童謡、唱歌、作曲、指揮、演奏（臺北）

【十一・三〇】子供の時間（臺北）童謡、唱歌、作曲、指揮、演奏（臺北）

【十二・〇〇】子供の時間（臺北）童謡、唱歌、作曲、指揮、演奏（臺北）

兩州强震罹災者救援義金領收報告

（二十七）

金武四也百七拾圓、金貳圓四拾錢、同林水泉殿、同高金殿、同高金殿、同高金

口中殺菌劑 カオール

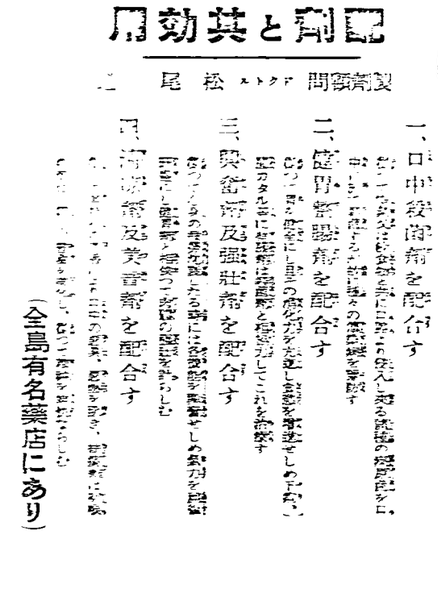
衛生口錠

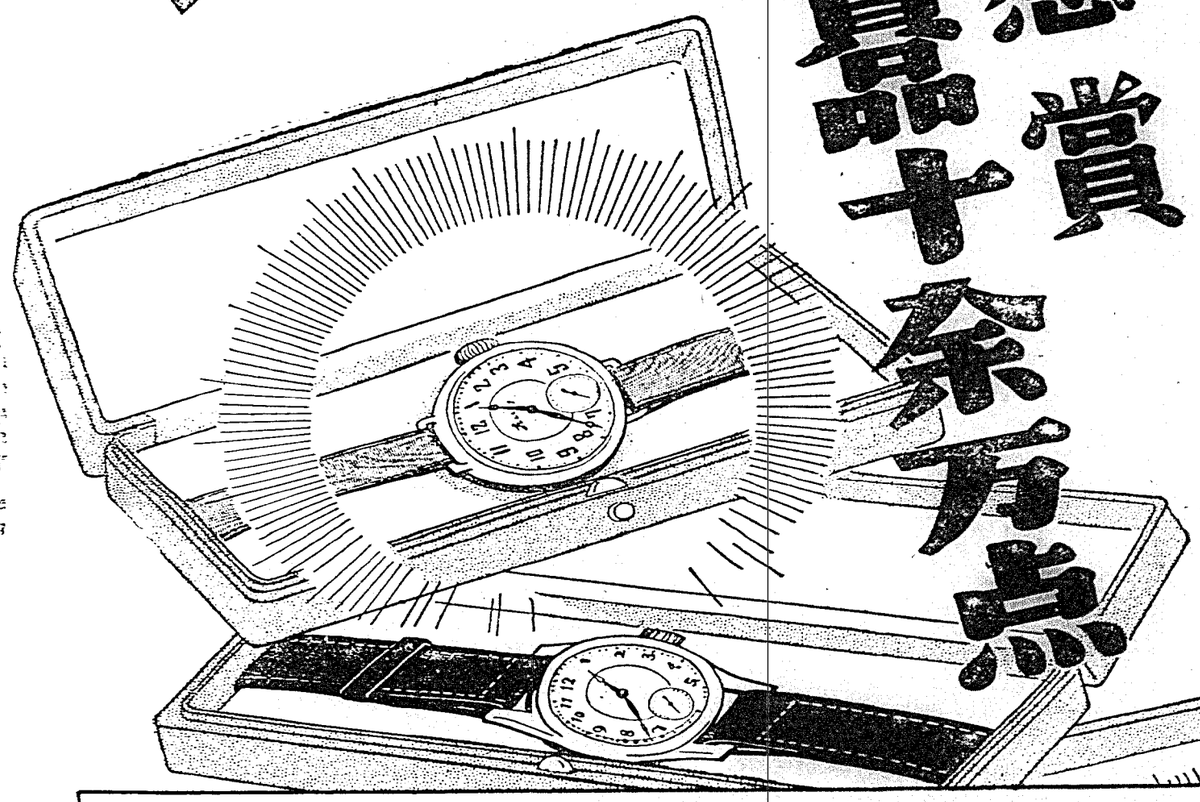
口より入る病を防ぎ
精神を爽快にする

効能書一枚で金側腕時計が當る

大懸賞 他二

當十余万点





壹等　金側腕時計　參拾名樣
（服部時計店保證付 セイコー十八金側十五石入バリー型）　壹個宛

貳等　クローム側腕時計　五拾名樣
（服部時計店保證付 セイコー十石入バリー型）　壹個宛

參等　純銀赤銅張分カオール容器　五百名樣
最高級　壹個宛

四等　カオール保健容器　壹萬名樣
新發賣　五百粒付　壹個宛

五等　衛生口錠カオール　拾萬名樣
定價金十錢　壹包宛

口劑と共効用

製劑顧問 ドクトル 松尾

一、口中殺菌劑を配合す

二、鎮咳鎮痛劑を配合す

三、除鬱興奮劑を配合す

四、清涼劑及芳香劑を配合す

五、健胃劑を配合す

（全島有名藥店にあり）

懸賞課題

口より入る病を防ぎ
精神を爽快にする
衛生口錠 ○○○○

答案用紙と書き方

カオールの効能書（袋入は上包の効能書 函入は其の中の効能書）の餘白（左の順序でハッキリお書き下さい。スミ・ハガキ）

一、答 ○○○○

二、あなたの 住所 氏名

答案の送り方

答案は樣書でハッキリ書き封書として十五グラム（四錢）毎に三錢切手を貼り左記へお送り下さい 郵稅不足未納は受付ません

送り先

東京市日本橋區水天宮前
安藤井筒堂藥品部
懸賞係

答案は御近所の藥店へお賴みになれば手數も郵稅も省けますから一番御便利です

締切　昭和十年七月卅一日迄に本舖へ到着のものに限ります

抽籤　一等より順次各等を抽籤にて決定します

發表　昭和十年九月上旬全國日刊新聞へ一、二、三等迄の當籤者を發表し四等以下は賞品發送を以て發表に代へます 正解者多數の時當籤洩れの方へは別に賞品はありませんから御含み願ひます 懸賞に付ての御問合せには一切御返事致しませんから御承知置き下さい

定價と容量

袋入	（十錢）	百粒
同	（二十錢）	二百五十粒
ポケット容器付	（二十錢）	三百粒
御勾玉形容器付	（三十錢）	五百粒
貝形容器付	（三十錢）	五百粒
純金張美術容器付	（五十錢）	五百粒
保健容器付	（五十錢）	五百粒
徳用瓶入	（五十錢）	八百粒
同	（一圓）	二千二百粒

本舖 株式會社 安藤井筒堂藥品部
東京市日本橋區水天宮前

英政府に反抗してガンヂーが作つた鹽

印度に起るスワラジ運動

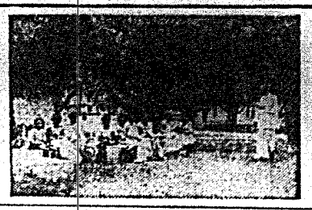
於カルカツタ本社特派員　今村忠助

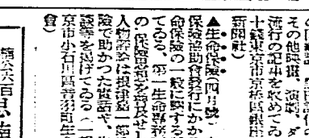
訪ねて「ゴール」翁を訪ふ (2)

來客紹介に一號鐘の可成大きな物で、係の給仕が部屋に案内すると、水が湧んであるから、取敢ず水浴をせとすすめる。その中に食事はボーイが運らすからと何くれとなく世話してくれる。

ボーイの案内で食堂を出ると、一人の英國の青年が私の前の席に坐つてゐる。この青年は英國から來たばかりで、この後に來て泊つて居るのだと云ふ。食事を攝りながらその青年に種々質問してみると、ケンブリッヂ大學を卒業して、復活の先生になる爲りで印度に來たのであるが

林間學校の小學部、マンゴー樹下の授業





科學日本の恩人
人間シーボルト
烈々たる眞理探求の跡を偲ぶ
（上）

シーボルトの像　一八四五年、弘化二年四十八歳の時

ドイツの偉傑――フイリップ・フランツ・フオン・シーボルトは、百十二年前の昔、文政六年（一八二三年）八月十一日夜肥前日本に渡來し、鎖國時九年餘を日本のために新しき科學の恩惠を與へ、日本の國の爲め開國に盡瘁した恩人である、今ここに復明治前一日本の爲めに盡したシーボルトの跡を訪ふ人間的興味を描き出すのも無意味ではなからう

☆

シーボルトは一七九六年二月七日ドイツバイエルンの水都ヰュルツブルグに生れた、彼の祖父は代々醫學の學者を輩出し、彼の父は有名な醫學者であつた、彼のまた有名な醫學者であつたこの血を受けたシーボルトが醫學地文學、人類學、植物學等に興味を通じた祖代の偉學であつても敢て不思議ではない、又はこの偉人を驚かすかの如く二歳の時早くもシーボルトは父を失ひ、叔父の手に育はれる事になつた、彼は一八一五年ヰュルツブルグ大學に入學、醫學はこの日本渡來後の年來の宿望であり、日本を彼にとつて無限の魅力の國として描いてゐたのだ

シーボルトは植物學の好學者關東軍司令官の外、植物學少佐に任じられ、一八二二年九月二十二日（文政五年八月九日）ロツテルダムから爪哇のバタヴイアへ渡航し、さらに翌年文政六年二月爪哇よりの日本政使一行に加はつて出島關館の醫師としての任命がれの我が長崎の地に一歩を踏むことが出來た、二十八歳の少壯學者はこの日本渡來を以て一生の事業の出發點となし、彼の學問は勿論、人格の上にも一大飛躍をなすに至つた、彼は一八二三年（文政六年）八月十一日夜長崎に着任、一八二九年十二月十八日（文政十二年十一月八日）まで滯在、この間彼は實に多くの學問的業績を殘してゐる、彼の日本滯在中の業績は、日本の學問に與へた影響は、實に偉大なものがあつた、彼は日本の學問を發展させるために、日本の學者を指導し、日本の學者と交際し、日本の學者を通じて日本の學問を研究した、彼の日本の學者に與へた影響は、實に偉大なものがあつた、彼は日本の學問を發展させるために、日本の學者を指導し、日本の學者と交際し、日本の學者を通じて日本の學問を研究した、彼の日本の學者に與へた影響は、實に偉大なものがあつた

シーボルトは日本の學者と交際し、日本の學問を研究した、彼の日本の學者に與へた影響は、實に偉大なものがあつた、彼は日本の學者と交際し、日本の學者を通じて日本の學問を研究した、彼の日本の學者に與へた影響は、實に偉大なものがあつた

シーボルトの日本渡來は、日本の學者と交際し、日本の學問を研究した、彼の日本の學者に與へた影響は、實に偉大なものがあつた、彼は日本の學者と交際し、日本の學者を通じて日本の學問を研究した、彼の日本の學者に與へた影響は、實に偉大なものがあつた

學者はこの日本渡來について次のやうな感想を述べてゐる

「今や歐羅巴人の往來するといへども、日本の最も遠き邦に向つて學を進めつつあり、但しその國には其人は自由に往來することは出來ず、彼が自から聲明なりとするその政策に據れて、その國ともその民とも自在に交はることは出來ず、世界旅行者の無き如く、學問の爲めに學問に專心なる者との物語に、又は學問の爲めに學問に專心なる者との物語に、又は學問の爲めに學問に專心なる者との物語に、又は

繪に現はれた性格と癖
如何に指導するか
兒童の癖をよく掴め

今はスケチ全盛です。兒童達は學校よりも外に出て檢に描くことを好むやうです。それで兒童の繪についてお話いたしませう。

おとなと違ひ、動作たり、又單純なり、輪なりはその人の性格、癖などをよく表はすものです。これを私のやつてをります繪の上から、兒童の癖の表れ、子供の心理といふべきものを——見ますと非常につきりした特徴が現はれてゐるのに氣がつきます。かうした各自の癖または、兒童共通の癖をよく注意して、年齢、個性に伴なつて、無理のないやうに指導して行かねばなりません。

×　×

兎實を描かせる——單純で、たゞ觀察し描く場合でも、實生活に基づいたものでなければならない點は云ふまでもありませんが、一、二學年の兒童に描かせると、大人の目に映つたものは非常に現實と遠つた作品が出來上つて來ます。けれども、これは拙だし無理がない限り、決して悪せず、讃めてやり、激勵し描くことに興味を持たせてやるのが、指導方法でありませう。

×　×

試みに二年生に鉛筆を描かせて見ると、風が左から右に吹いてゐるものと、右から左に吹いてゐるものと二通り出て來ます。子供といふものは描きいい方向に描くので其割合から云ふと後者つまり右から左に流れてゐる點に描くものは即考の約五分の一位しか過きません。その六分の一は右と左利きの子供です。左利の中で、全く左を使つて描く者は稀に一人位であります。

×　×

また鏡は左から右に流れてゐるが實際に干渉などを描き、運笑の煙が右から左に流れてゐるのに屋をひいてゐる——實際

經濟講話

世界各國の通貨政策と（四）その動向に觀る……

臺銀副頭取　吉田勉氏談

英米爲替比率

米國では現在英米間に於て磅と弗の爲替比價を現在爲替相場に安定させて居り此の爲替相場が大體昨年の秋價値切下の前迄即ち四年八十六仙三分の二見當に近く維持せられて居りますので此比價を標準點に於て維持すると言ふ點が出來れば世界の各國の通貨安定上に非常な貢獻を爲すことゝなりませう、昭和八年の世界經濟會議は英米間の爲替比率協定が成立せず決裂となつたのであります、英米間は前に申しました樣に勿論である四年八十六仙三分の二近邊に現在爲替相場が安定して居り此れにより米國の特價も大體安定して居ります、然るに米國は關稅ではありますが金本位であります爲英米爲替が安定すれば後は問題に金本位に安定して居ると言へるのであります

ブロックの平價切下要望

其後で英國エール大學のアーヴィング・フィシャー敎授氏が英國のサーヘンリー・ストラコシユーは金本位ブロック國は英米の通貨に對する關係に金本位を離脱する爲め四月中旬切り上げて金本位ブロック國の爲替相場を基準に對し安定することに努力されれば此處に於て全世界は復歸した國際的通貨制度を採用する爲めに第二回の國際經濟會議を開催して世界各國の經濟現狀の苦境を打開する唯一の方法であると云ふ樣な議論をして居りますが此處に於て英國のエコノミスト誌は設立に於て期待せられて居りますので此比價を維持すると言ふことに於て英國のサー・ヘンリー・ストラコシユーは本年一月五日倫敦の英國經濟會議に於て英國の爲替安定に關する演說に於て英國は現在の爲替相場に於て安定して居ります、然るに米國は四年八十六仙三分の二見當に近く維持せられて居りますので此比價を維持すると言ふことに於て英米爲替が安定すれば後は問題に金本位に安定して居ると言へるのであります

金ブロック崩潰せば

金ブロックが若し崩壞してしまつたならば世界經濟の回復を無欠して行くことゝなり爲替戰爭が一層緩和されることにもなると思ひます

爲替戰爭

爲替戰爭の激化と言ふことに就て英國のサー・ヘンリー・ストラコシユーは本年一月五日倫敦の英國のエコノミスト誌設立に於て期待せられて居りますので此比價を維持すると言ふことに於て英米爲替が安定すれば後は問題に金本位に安定して居ると言へるのであります

ストラコシユーの意見

金本位に於ける通貨安定策としては國際的に金本位を復活せしむる外に手段が無い樣であります

ブロックの平價切下要望

其後で英國エール大學のアーヴィング・フィシャー敎授氏が英國のサーヘンリー・ストラコシユーは金本位ブロック國は英米の通貨に對する關係に金本位を離脱する爲め四月中旬切り上げて金本位ブロック國の爲替相場を基準に對し安定することに努力されれば此處に於て全世界は復歸した國際的通貨制度を採用する爲めに第二回の國際經濟會議を開催して世界各國の經濟現狀の苦境を打開する唯一の方法であると云ふ樣な議論をして居りますが此處に於て英國のエコノミスト誌は設立に於て期待せられて居りますので此比價を維持すると言ふことに於て英米爲替が安定すれば後は問題に金本位に安定して居ると言へるのであります

爲替戰爭

爲替戰爭の激化と言ふことに就て英國のサー・ヘンリー・ストラコシユーは本年一月五日倫敦の英國經濟會議に於て英國の爲替安定に關する演說に於て英國は現在の爲替相場に於て安定して居ります、然るに米國は四年八十六仙三分の二見當に近く維持せられて居りますので此比價を維持すると言ふことに於て英米爲替が安定すれば後は問題に金本位に安定して居ると言へるのであ

非常時の体力を造る

ネオナルトーゼ

体力の根本的改善法は 生れぬ先からと乳幼児時代に

体力は体格の強弱に左右され 体格は骨骼の大小 骨質の強弱に基くものであります 一般の方は成人になつてからの健康增進法にのみ重きを置かれてゐる傾向があります が之では對症療法位のことで どうしても生れぬ先からと乳幼児時代の新陳代謝の急速な發育成長の時期にこそ 体力の强化を圖らねばならぬのであります 最近産科産院方面で姙婦に ネオブルトーゼを盛んに應用せられるのは 非常時の体力を造るに最も合理的であり 左記の特徴をも確認された結果であります

(1) 心臟の抵抗力を強めるため 分娩が樂であること
(2) 母體が良くなるためお乳の質が良くなり 乳の出が豐富であること
(3) 分娩が順調であるため發育成長が速いこと
(4) 初生兒黃疸の經過が早く輕快に濟むこと
(5) 生れてから丈夫であるため胃腸障害を起さない 且つクサが出來ないこと
(6) 感冒を引かないこと

醫學博士 服部陳先生著
「姙産婦の衛生」
附 初生兒の取扱法
申込次第無代進呈

主効	錠劑	粉末
産前産後の衰弱	一回四錠	一回一瓦
體質虛弱症	(三十日分百二十錠入)	(三十日分三瓦)
ヒステリー 婦人血の道	一圓八十錢	一圓八十錢
精力減退 食慾不振 消化不良	一回四錠	一回一瓦
貧血 榮養不良	千錠入	二十一圓
神經衰弱症	四圓五十錢	一回七十五錢
腺病 佝僂病 骨軟化症	五千錠入	二圓七十錢
	二十一圓	十二圓

株式會社 藤澤友吉商店
大阪東區道修町 東京日本橋本町 京城府小西門町

ブルトーゼ五製劑(液狀)

補血强壯 增血健胃 單味ブルトーゼ
神經性疾患特効 アルゼンブルトーゼ
強壯特効 補血滋養 ヨードブルトーゼ
健胃補血 强壯興奮 キナブルトーゼ
呼吸器系疾患特効 グアヤブルトーゼ
コールブルトーゼ

（第三種郵便物認可）　昭和十年五月十一日　臺灣日日新報　第一万二千六百十一號　A　（十一）

佛領印度支那へ……自ら渡つて彼地で企業せよ

二晝夜で行ける臺灣はもつと發展策を講ぜよ

在住三十餘年の 横山正脩氏語る

佛領印度支那に在住する事三十有餘年、彼の地に於て私設大使の名ある横山正脩氏が九日來臺したが佛領印度支那に對する日本の經濟發展に就ての如き點であつた

日本の經濟發展

一は過剰、他の一は日本人の海外へ出て企業をやるのがそれである。現今、日本品の海外進出に種種の關稅障壁の爲めに、益々困難を加へつつある、印度支那に於ても

法外な 關稅を課してゐるのは實際苦痛である、各國共同一といふならば兎に角、日本だけは特別待遇だから堪らない昭和七年五月の協定で、日本の重要輸出品たる綿布、綿絲布は割輸入れない、何故かといふと日本品に對する競爭は英國其の他の歐米品に對し二百二十五パーセントといふ法外なものだからである、こんな不合理な協定を何故そのままにして置くかといふ點はまだ現れ角として佛領印度支那は日本に最も近いし、當業相場の關係上（ピアストルは二圓二十五錢）喜ばれてゐるのに此の關稅障壁といふわけで困つたものである

× × ×

然らば日本の海外進出に就き佛領印度支那は絶對ノーかといふのは勿論ではあるまい、適當が出來さへすれば、佛領印度を

研究し 一層の發展としては見逃る事は私としては採らない。佛領印度は佛本國を一とすれば二に當り、シヤムを五とすれば七にあたる廣大な地積を占め、人口一千萬、而もロタな企業は起つてゐない、日本人自ら向ふへ渡つて企業をやる事を切望して居る、日本人の如きは五百萬の人口を擁する第隣を控へてゐる、日本人が入つて行くには何等の制限が無い、製紙、紡織マツチ等の工業を興して、日常生活品の必需品を供給すれば向ふの人民は非常に喜ぶ、何しろ現在輸入してゐる必需品に高い關稅をかけられ、歐米の高い品物を買はされてゐるから住民の購買は苦しいものがある

× × ×

それから輸入の點もあるべきである

無煙炭 ガラスの原料、漂白等々の需要が頗る多量にある、關稅關係も何時まで此のままで取くべきものでなく、既にカナダなどには滿蒙特惠法級の關稅になつてゐるが如き手段も日本を有利な地位には必要だ、當局心に訴へるなどといつては伊々拉ち切かぬ、臺灣は佛領印度支那は一向無關心な樣だがもつと限界を廣くして欲しい尤も過かジヤワ邊りの方に關心を持つてゐるが、二萬餘年行ける佛領印度支那の方にもつともつと力づくべきであり、研究調査もなすべく、開拓の餘地は多多あるのだ、明石總督は少佐時代に彼の地を視察せられた事もある關係上、大なる關心を持つて關係當局を激勵された事もあるが

地理的 に惠まれた臺灣が關連の關稅方法で海外發展策を講ずる點に彼の地の住民にとつても好であり、臺灣としても將來有望の事である（寫眞は橫山氏）

增設航空部隊は八月建築に著手

神戸で桑木參謀長談

【神戸十日發本社特電】桑木陸軍參謀長は來る八月の逸について、かねて計畫中の左の如く語つた

臺灣航空隊は愈愈今年度から增設することになつてゐるが、未だ場所は決定してゐない、本島から近く派遣する事と思ふ、何處へ行くかは軍事上發表を憚るが、何處でも良いといふ譯ではなく、飛行場の適地でなければならぬ、臺灣は地積が狹いだけに適地がなかなか見當らないのだから實際上困難を感じてゐる、飛行場の建設は軍事的にも經濟的にも重要なものであるが、これは豫算の關係もあり、一時に澤山は出來ない、一つ一つ增設して行く豫定である

新竹州に飛行聯隊

州民一體で猛運動

十四日、州民大會を開く

【新竹電話】新竹市民の飛行聯隊誘致運動は希望團を新竹市と限らず州下何れにても差支ないことゝし州民一體となつて陳情運動を行ふことゝなり、來る十四日午後二時より新竹市公會堂に於て州民大會を開くことゝなつた、即ち當日新竹州下郡市街の主立つたものが集合し飛行聯隊誘致方陳情の

屏東からも

陳情團

軍司令部を訪問

新竹誘致陳情の件に就き十日午前十時より軍司令部に於て關係官と會見し、誘致の必要を力説し、尚ほ屏東からも陳情團が來訪する筈である

小柴名捕手

全嘉義團に參加

十日朝日丸で渡臺

【嘉義十日發】嘉義の一般野球熱となり、同團は

山崩れ對策

索道に略々決定

工費三、四千圓の見込

今は復興に唯一生懸命

滿富大甲郡守の手紙

臺北國民中學

開學、入學式

きのふ假校舍にて

武器彈藥を土耳其に賣るな

伊より抗議

【ローマ九日發電通】イタリー政府はエチオピアに武器彈藥、飛行機等を賣りつつある諸國の政府に對しかゝる行動は東部アフリカにおけるイタリー植民地に危險感を與へる原因となし從つてイタリーに對する友好的のものである旨の意味の抗議申込を發した、但イタリーが抗議すべき國名は明示されてゐない

共産黨軍事主席 項英逮捕さる

【上海十日發電通】南昌發電に依れば中國ソヴエート政府軍事委員會主席朱毛の西遁後江西に留まり殘部指揮として江西南部に蟠據を續けてゐた項英は、我軍の包圍攻擊に遭ひ、遂に逮捕されたと傳へられる

松竹、東寶の戰線 九州に延ぶ

福岡を中心として 早くも火蓋切らる

【福岡十日發本社特電】東京有樂座の松竹に對抗から福岡に國松竹に從屬の大部分と切つた關係上國松竹に從屬の大部分と切つた關係上國松竹に從屬の大部分と切つた關係上

臺東新港利用夏期編成小型船漁船隊

在母船售魚供給日用品

旗魚漁業。例年至四月。內在住天理教信者約百名訂來十八日。定爲社會奉仕日。欲從事于市街美化作業云。

彰化郡西瓜議檢查法

彰化郡下本年度產出西瓜數約二十萬個。蓋數年來之好成績者。而郡據西瓜檢查法。欲期檢查完全。去九日午前九時。召集郡下街庄關係職員二十名。

米穀檢查規則

本于實情大改正

自六月一日實施

米穀檢查所。鑒于近時米質宜之實情。及向來檢查制度之不備。就規則之大改正。經多年研究。最近改正案完成。于十日府報公布。自六月一日實施。照此改正規則。從來之北中南三部制。增加爲臺北米高雄米新竹米臺中臺南米高雄米。及東部米六種類（與行政區劃一致）。而就檢查等級。蓬萊米。丸糯以外米種。亦增加等級。而爲一等至四等。及等外之五階級。其數量寡少米之輸移出自由。機構之改正。各等級區域。設一支所及出張所。擴張檢查員命令處置權限。更就載船立會時之一覽。新設定規定。由各方面。期米穀檢查之徹底。關米穀檢查規則大改正。當局當局解說其趣旨內容。須田米穀檢查所長以談話形式發表。顧米穀檢查規則。乃制定于大正十五年。其後雖經三次。改正部分的。然而本島產米。其後甚見改良進步。加之實實事情亦變化。而欲以現行分民。求當該解。十一時半散會云。

兩相報告首相

伊澤水野兩氏

均允就任

東京十日電。後藤　相。十日午前八時二十分。到官邸訪岡田首相。報告交涉伊澤多喜男氏。內務大臣。已得承諾。九時半。內田鐵相。與首相會見。報告與吳望月圭介民交涉結果。詳細報告。又吉田書記官長。同八時。訪水野錬士鉄氏。得其正式回答承諾云。

岡田首相及松野幹事長先後訪望月氏

東京十日電。松野　政友會幹事長。十日午前十時。訪鈴木總裁。私邸後。十時三十分。亦訪望月圭介氏於私邸。勤之助入　審議會員鷲巢議長。又岡田首相。十日午後一時。到原宿邸。

米海軍機大隊演習

發眞珠灣入太平洋

【華盛頓十日電】米國海軍平和時最大太平洋演習之一部。爲海軍機布哇大艦隊飛行。既報筆述。以九日正午。自舊金山灣飛行。十日午前八時。到布哇。不時爲海軍三艦飛行場。一時全艦隊。入眞珠灣之自由。其

救急治療藥品應備

羅災民大小便秘短

賴尚和醫官實驗談

醫官所談如左。

余等自受命後。徵夜準備藥品。請且出發。一至三灣庄。即滿目慘澹。家屋倒壞。屋民皆四出無補。街衢寂無人居。處々露天布帳生活。自臺北警程。歷八時久始到大河底。是處屋潰壓死者。交通至爲不便。人家又散在於各山麓。

永靖信組涉訟問題

既報員林郡永靖信用組合總代陳龍麟。張錦珍。郎鳳。張漢外數名。日前記

震災犧牲者三千名

督府舉一大慰靈祭

在中川總督上京之前

督府對震災犧牲者三千名精靈。欲舉一大慰靈祭。合復興事業同時計畫。其方法如左。

一、現地臺中。新竹兩州各自舉行。

二、總督府主開。於臺北議此二案。結局決在臺北舉一大法會。即採取第二案。中川總督。俟定十八日上京。在此之前日臺灣住民五百萬。同表哀悼之意。舉辦一大慰靈祭云。

北州畜產事務磋商

議檢疫州外移動豚

新莊爲歇設豚檢診所

臺北州下畜產事務磋商會。去十日午前九時。開于州廳內畜產課。州下市郡街庄畜產關係技術員。約百名出席。重要附議事項。即臺北州隣時部落豚之檢疫所開。豫算五千七百六十圓。豚之檢疫。擬在州界之臺歇驛及新莊郡。設置豚檢診所。前者建豚舍二棟。後者建豚舍一棟。事務所。宿直室。調理室。倉庫。燒卻處等。以臨畜防疫委員二名。常駐該處。後者建豚舍一棟。事務所。宿直室。調理室。倉庫。燒卻處等。以臨畜防疫委員二名。常駐該處。

庶務課長

召集災地郡市

新竹州。十日午後一時。召集罹災地關係郡市庶務課長。在州會議室。報告往日督府閣會之復興委員會結果。同時由州有諸種指示云。

高雄商工專修

校長生徒

市內美化作業

高雄市立商工專修員校。爲協調養生徒之勤勞精神。數日來。校長以下六十餘名總出。掃除全市道路。整理草仔脚。刈除地雜草等。從事美化作業。又市

彰化爲歷死者

舉慰靈祭

彰化市佛教聯合會。由同市方面委員協議成會後援。訂來十五日午後七時。在國市四門町。顏吉號前月臺。被歷死同胞慰靈祭。當市民一般多數參列云。

定例閣議

首相報告

東京十日電。十日　定例閣議。午前十時半。開永田町首相官邸。岡田首相。以下各閣僚（大角海相旅行中缺席）出席。首相報告內閣審議會委員鈴衛經過。內容如左。

一、接鈴木政友會總裁。拒絕回答。不知政府當初擔期。得網羅各政黨加得他練達者之委員。尚現在未接諾否回答者。伊澤多喜男。望月圭介兩氏。但信兩氏均承諾。

一、其他委員。齋藤。山本。水野。池田。各務五氏。均以電話回答承諾云。

基隆市物產陳列館

借用舊植物檢查所

設臺博案內所食堂等

基隆市役所。爲今秋開催之物產會機關。欲借舊植物檢查所。改作物產陳列館。併設置臺博案內所。食堂等。努力紹介產。訂來十二日。市勸業協會創立總會。席上。由係員說明具體案。然後實施。該建物係大正年間建。坪數百八十坪。近于頹朽。沿岸要衝。場所適當。修築後。乃陳列各地物產。及基隆特產之出品。並設食堂。以資利用云。

筍商狡獪

嫁禍他人

【林邊特電九日發】本月五日午後一時半。林邊街內。有一筍商。自稱黃通。年二十八。去月十八日。突然到一林姓行商。謂欲購買筍。被騙至林邊。翌日。該筍商。又到一黃